

## 講評

本公募では、現在遊休地となっている旧垂水警察署跡地にて、「リノベーション神戸（第二弾）の垂水活性化プランの趣旨を尊重し、周辺実施施策や近隣居住状況とのバランスを勘案しながら、人口減少対策を推進する」居住施設を設置できる事業者を求めた。

公募結果、1事業者の応募があった。

優先交渉権者と評価した受付No. 1の事業者は、人口減少対策において問われる「人口流出抑制」の観点から、需要の増加が予測され、周辺地域からの住替えが期待できる有料老人ホームと、「人口流入促進」の観点から、保育所や、小児科、病児保育の設置する計画を示し、神戸市の求めに十分応じる事業計画であった。

事業計画の継続的・安定的遂行はもとより、提案時に説明のあった地域との交流等についても確実に実施すると共に、交流自体が当該施設に来場する目的となるように意識的に取り組み、地域住民、高齢者、若年者が積極的に関わり続ける、オープンな複合施設であり続ける努力が望まれる。

令和3年12月15日

旧垂水警察跡地利活用事業者公募に係る  
優先交渉権者選考委員会  
委員長 磯兼 一生